

京都市交響楽団メンバーによる 京都ラビッシュアンサンブル vol.12

～遠く遠く、哀愁と、憧憬～ 舞う!ハンガリアン・ダンス

京響メンバーを中心に2002年に結成し、13年目を迎える人気のアンサンブル。
2008年に好評を得た「ハンガリー舞曲集」ですが、今年はさらにボリュームアップして11曲を厳選。前田肇さんによる新たなアレンジでお届けします。
前半には、2012年に取り上げたティエリオのもう一つの八重奏曲。ブラームスを兄弟子とする彼の隠れた名曲を、息のあったアンサンブルでお楽しみください。

(京都 ラビッシュ アンサンブル)

京都 ラビッシュ アンサンブル

2002年、京都市交響楽団のメンバーを中心とした8名で結成されたアンサンブル。幅広い音楽ジャンルや楽器編成からなる多彩なプログラムにより、京都での数多くの公演をはじめ、現在までに鳥取、兵庫、岐阜、滋賀等各地での公演において好評を得る。公益財団法人アフィニス文化財団助成による「アフィニス・アンサンブル・セレクション」東京公演(三回)、大阪特別公演(二回)に出演。このほかにも社会教育施設への訪問演奏や、行政機関と提携した青少年育成事業、学校での演奏指導など活動は多岐にわたる。既存の演奏会形式にもこだわらず、ビストロ ラ・ミュージ(京都コンサートホール内)と共催する本格フレンチとコンサートのコラボレーション「マチネ」は22回目を数え、また京都の伝統産業との融合への取り組みなど、その独自のスタイルによる室内楽活動に注目が寄せられている。

ホームページ <http://www.geocities.jp/labicheensemble/biche1/index.htm> ブログ <http://yaplog.jp/kyotolabiche/>



田村 安祐美 Violin

京都市立堀川高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部卒業。第43回全日本学生音楽コンクール全国1位。第7回ABC新人演奏会オーディション合格。2006年度「京都市芸術新人賞」受賞。京都ラビッシュアンサンブル、大阪パッハアンサンブル、Duo SAKURA、関西弦楽四重奏団のメンバーとして室内楽に意欲的に取り組み、Duo SAKURAでは2000年度(財)青山財団「パロックザール賞」を受賞。関西弦楽四重奏団では、2014年度「大阪文化祭奨励賞」を受賞。第21回ヨルジュ・エネスコ国際音楽祭(ルーマニア)に出演。新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団(現 大阪交響楽団)のコンサートマスターを歴任し、2008年4月より京都市交響楽団に在籍。



片山 千津子 Violin

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業。同大学専攻科及び大学院芸術文化専攻修了。第35回関西新人演奏会に出演。1995、1999年京都フランス音楽アカデミーにおいてジェラル・ジャリ氏に師事。1997年テレマン室内管弦楽団とモーツァルトのVn協奏曲第4番を協演。1997年京都市交響楽団に入団。2004年第16回アフィニス夏の音楽祭に参加。ヴァイオリンを世原久子、東條幸、稲垣琢磨、四方恭子の各氏に師事。現在、京都市交響楽団ヴァイオリン奏者。京都しんぷおにえったメンバー。



小峰 航一 Viola

埼玉県出身。6歳よりヴァイオリンを宮澤健一氏に師事。11歳でヴァイオリンに転向し、東京藝術大学附属高校、同大を経てパリ国立高等音楽院を最高位の成績で卒業。ヴィオラをブルーノ・バスキエ、菅沼準二、クロード・ルロンの各氏に師事。南仏サン・ジャン・ド・リュズでの国際ラヴェルアカデミーにおいてミゲル・ダ・シルヴァ(イザイ・カルデット)のマスタークラスを受講。ピアニスト田中玲奈とのデュオにボナ美術館賞を贈られる。2007年日本演奏連盟主催のデビューリサイタルを東京文化会館にて開催。パリ管弦楽団アカデミー生、札幌交響楽団首席奏者を経て現在京都市交響楽団首席奏者。京都市立芸術大学非常勤講師、紀尾井シンフォニエッタ東京、関西弦楽四重奏団メンバー。



渡邊 正和 Violoncello

愛知県豊橋市出身。中学校においてチェロを始め、高校および大学在籍時よりフリー奏者として活動し、愛知県を中心にソロ、室内楽、オーケストラ、ジャズ、フラメンコなど多岐にわたるコンサートに出演。1994年より京都市交響楽団チェロ奏者。現在では客演首席奏者としてもさまざまなオーケストラから依頼を受け、多数の演奏会に出演している。



神吉 正 Contrabass

1991年大阪音楽大学卒業。1992年ロンドンに留学。1999年第4回高槻音楽コンクール第2位。2013年第21回ヨルジュ・エネスコ国際音楽祭(ルーマニア)に出演。コントラバスを林俊武、西出昌弘、故奥田一夫、三宅康司、新真二、ギンター・クラウス、ダンカン・マクティアの各氏らに、室内楽をギンター・クラウス氏に師事。オーケストラはもとより、ソロ、室内楽で幅広く活動する。現在、京都市交響楽団コントラバス奏者。大阪音楽大学、華頂女子高校音楽科の講師。



鈴木 祐子 Clarinet

大阪音楽大学卒業。延原弘明、宮本淳一朗、本田耕一の各氏に師事。第3回日本クラリネットコンクール入選。第4回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門第1位、特別賞、すみれ賞を受賞。2000年4月京都市交響楽団に入団。大阪音楽大学、大阪国際滝井高校吹奏楽クラス、夕陽丘高校音楽科の非常勤講師。アンサンブルダンスイェ、トリオクラシコ、シンフォリアコレギウム大阪、関西室内楽協会、ななわ《オーケストラ》ウィーンのメンバー。



仙崎 和男 Bassoon

1967年京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立京都堀川音楽高校)を卒業と同時に京都市交響楽団に入団。以来、独奏者、室内楽奏者としても各地で活躍を続けている。1975年フランスにてポール・オンニユ氏の指導を受ける。2006年3月まで京都市交響楽団首席奏者。現在、華頂女子高校音楽科、早稲田摂陵高校吹奏楽コースの講師を務める。2005年度藤堂音楽賞受賞。2007年度、2011年度京都芸術祭京都府知事賞受賞。



小椋 順二 Horn

鳥取県倉吉市出身。1996年大阪音楽大学卒業。2000年ドイツ国立ケルン音楽大学アーヘン校卒業。在学中、アーヘン室内オーケストラ、ユンゲ・ドイチェ・フィルハーモニーに在籍。大阪シンフォニカー、仙台フィルハーモニー管弦楽団を経て現在、京都市交響楽団ホルン奏者。相愛大学、大阪音楽大学、夕陽丘高校音楽科、県立西宮高校音楽科の非常勤講師。ホルンを三宅知次、D.ブライアント、R.アルメイダ、H.ツィングラーの各氏に師事。シンフォニア・ホルニステン、リバース・プラスクインテットのメンバー。



編曲

前田 肇

モダンバスーン、古楽バスーン奏者、編曲家。16歳よりモダンバスーンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。モダンバスーンを仙崎和男、光永武夫、青谷良明の各氏に師事。1981年から2002年までバスーン奏者として京都フィルハーモニー室内合奏団に在籍。楽団在籍中に古楽に興味を持ち、バロックバスーン、クラシカルバスーンの演奏活動を始め。日本で数少ない古楽バスーン奏者として活躍中。また、楽団在籍中より編曲活動を始め。クラシック、ジャズ、ポピュラー、校歌、邦楽など様々なジャンルの編曲をこなす。これまで手がけた編曲は1,500以上を数える。また、2011年、広島県神石高原町立三小中学校校歌を作曲。

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ



京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 (地下鉄「北山駅」①③番出口南へ徒歩5分)

24時間いつでも！オンラインチケット購入

詳しくはWEBで

京都コンサートホール

検索

チケットのご予約・
お問い合わせ

☎075-711-3231

(10:00~17:00)

第1・第3月曜休

